

側方排気アダプタ設置工事説明書

工事される方へのお願い

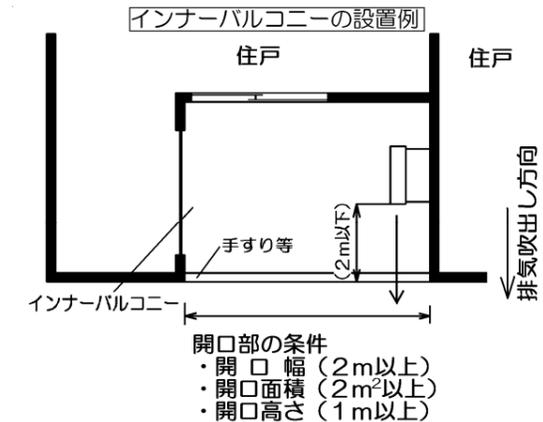
- 本品を指定する機器にご使用ください。
- 作業時はけが防止のため、手袋などをして行ってください。
- 機器を正しく安全に使用していただくために、この設置工事説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。

品名	熱源機の型式
WOP-3305	RUF-E2405SAW(AW)
	RUF-E2008SAW(AW)
	RUF-E2005SAW(AW)
	RUF-E1615SAW(AW)
	RUF-K245SAW
	RUF-K205SAW
WOP-3305G	RUF-E2405SAG(AG)
	RUF-E2008SAG(AG)
	RUF-E1615SAG(AG)
	RFS-E2405SA(A)
	RFS-E2008SA(A)

取り付け上の注意

○インナーバルコニーに設置した場合の制限

- (1) 側方排気アダプタの燃焼排ガス吹出口から開口部までの距離は、2m以下としてください。
- (2) 開口部は開口幅 2m以上、高さ 1m以上かつ面積 2m²以上としてください。
- (3) 側方排気アダプタの燃焼排ガス吹出口の正面に柱等の障害物があり、燃焼排ガスが直接障害物に当たる場合は、熱源機的位置を変えるなど燃焼排ガス吹出方向を変更してください。
- (4) 天井面には給気口・換気口などを設けないでください。

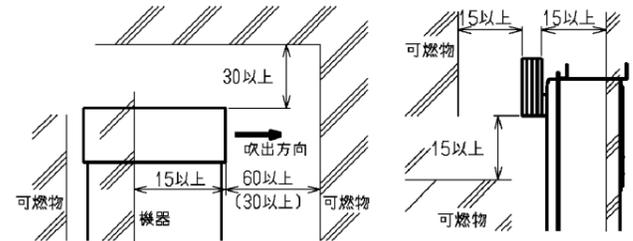


○側方排気アダプタと周囲の「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」とは、下記の離隔距離をとってください。

側方排気アダプタの周囲の離隔距離 (単位: cm)

方向	上方	側方 (吹出方向)	他の側方	下方	前方
距離	30	60 (30)	15	15	15

備考: () 内は防熱板を取り付けた場合および「不燃材料で有効に仕上げをした建築物等の部分」との距離を示す。



梱包部品一覧

部品名	個数	部品名	個数
排気筒本体	1	排気筒吊り板	1
前蓋	1	⊕トラス小ねじ (M4X8)	14
横蓋	1		

熱源機への取付方法

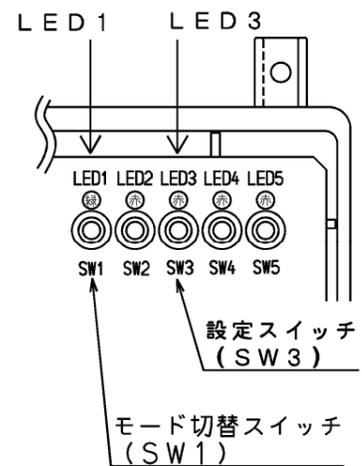
※熱源機のフロントカバーをはずして行う作業は、側方排気アダプタを取り付ける前に行ってください。

(1) 熱源機のフロントカバーを取りはずし、熱源機の電装ユニットの仕様を変更してください。この操作を行わないと、不完全燃焼などの原因になります。

- ① LED1が消灯していることを確認してください。
LED1が消灯していない場合は、モード切替スイッチ (SW1) を1秒間押ししてLED1を消灯させてください。
SW1を1秒間押しすごとにLED1は下記のように切り替わります。

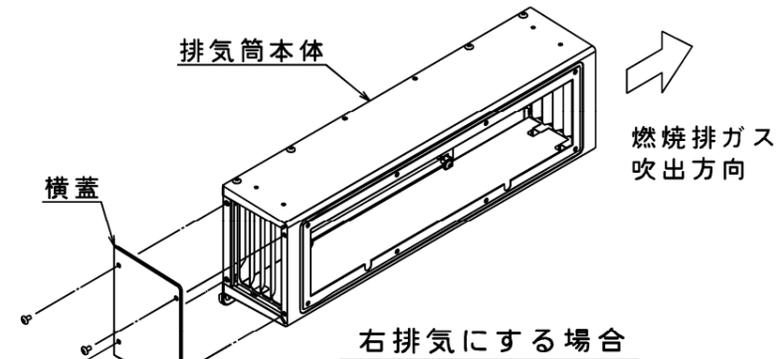
消灯 → 点灯 → 点滅 → 点滅 → 消灯

- ② 設定スイッチ (SW3) を1秒間押し、LED3を点灯または点滅にしてください。LED3が点滅の場合、設定スイッチ (SW3) を1秒間押し、LED3を点灯させてください。LED3が約1分後に消灯すれば設定完了です。



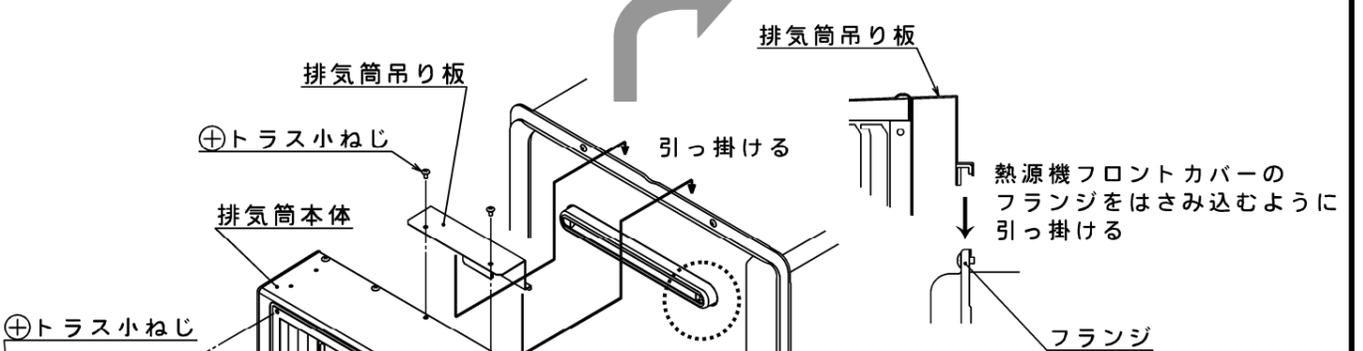
(2) 燃焼排ガス吹出方向について

出荷時は燃焼排ガス吹出方向が左右両側になっています。燃焼排ガス吹出方向を片側にする場合は、横蓋を付属の⊕トラス小ねじ (M4X8) 4本で排気筒本体に取り付けてください。
※タンクユニットを隣接設置する場合は、隣接する側に横蓋を取り付けて、片側排気としてください。



- (3) 排気筒吊り板を付属の⊕トラス小ねじ (M4X8) 2本で排気筒本体に取り付けてください。
- (4) 排気筒本体のねじⒶ2本をいっぱいまでゆるめ、固定板が動くようにしてください。
- (5) 排気筒本体を排気筒吊り板で熱源機のフロントカバーに引っ掛けてください。
※排気筒吊り板の引っ掛け位置に注意してください。(下図参照)
- (6) (4) で動くようにした固定板を熱源機の排気口両側にそれぞれ引っ掛けてください。引っ掛けにくい場合は、排気筒吊り板のねじをいったん緩めると作業しやすくなります。
- (7) (4) で緩めたねじⒶ2本を固定板が排気筒本体に密着するまで締め付け、排気筒本体を熱源機の排気口に固定してください。
※排気筒本体を前後上下に動かし、固定板が熱源機の排気口にしっかりと固定されていることを確認してください。
- (8) 前蓋を付属の⊕トラス小ねじ (M4X8) 8本で排気筒本体に取り付けてください。

排気筒吊り板引っ掛け部詳細図 (横から見た図)



固定板取付部詳細図



OPU25-1575X02(00)

A3R-Wh-BK